

船舶事故等調査報告書

平成24年5月31日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012門第5号	
事故等種類	浸水	
発生日時	平成23年12月5日 23時00分ごろ	
発生場所	長崎県対馬市三浦湾 対馬市所在の対馬黒島灯台から真方位240° 2,000m付近 (概位 北緯34° 18.5′ 東経129° 23.6′)	
事故等調査の経過	平成24年1月13日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	砕石運搬船 せき丸、194トン	
船舶番号、船舶所有者等	129065、西本海運有限会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	2番バラスタタンクに浸水	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか3人が乗り組み、砕石約650tを積載し、福岡県北九州市から対馬市三根港に向かう途中、三浦湾に入ったところ、平成23年12月5日23時00分ごろ右舷側に約5°傾いた。</p> <p>本船は、機関を停止して各バラスタタンクの測深を行ったところ、2番バラスタタンクに浸水を認め、排水しながら三根港に入港した。</p> <p>本船は、荷揚げ後、上架して船底に小破口を認めた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 2</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の末期</p>	
その他の事項	<p>船底の小破口は、直径約20mmであり、小破口付近に擦過痕はなかった。</p> <p>本船の進水は、1987年3月であった。</p> <p>本船の喫水は、船首約2.4m、船尾約3.8mであった。</p> <p>本船のバラスタポンプの排水能力は、1時間当たり約70tであった。</p> <p>船長は、三浦湾に入る前、船体の傾きに気付かなかった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、三根港に向けて航行中、三浦湾に入った際、船長が、右舷側に傾いているのに気付いたものと考えられる。</p> <p>本船は、三根港に向けて航行中、船底に破口を生じたことから、2番バラスタタンクに浸水したものと考えられる。</p> <p>本船の船底に破口が生じた理由については、明らかにすることができなかった。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が、三根港に向けて航行中、船底に破口を生じたため、2番バラスタタンクに浸水したことにより発生したものと考えられる。</p>	